

情報公開用文書（医学部で実施する医学系研究）

（単施設の研究用）

第1段階：後ろ向き診療録調査用

西暦 2017年 7月 27日作成

研究課題名	多剤併用療法を受ける HIV/AIDS 患者の中長期療養生活の構造化
研究の対象	HIV/AIDS との告知を受け、本院にて 2012 年 5 月～2017 年 4 月の間に外来あるいは入院して多剤併用療法を受けた HIV/AIDS 患者さん。
研究目的 ・方法	<p>中長期にわたる多剤併用療法を受ける HIV/AIDS 患者さんが受けた医師や看護師などの医療チームからの医療支援内容と患者の体験から成る HIV/AIDS 患者の中長期療養生活の構造を明らかにします。その結果を踏まえて中長期に療養する HIV/AIDS 患者さんの具体的な看護支援を検討するきっかけを得ることを目的としています。</p> <p>本研究は過去の診療録から治療や検査結果を収集する診療録調査と面接調査データの分析による 2 種類の調査を行います。診療録調査では HIV/AIDS 患者さんの診療録に記載されている 2012 年 5 月～2017 年 4 月における医療支援内容について調査を行います。調査項目をまとめた調査票を持参し、病院内で診療録から情報収集を行い、得られたデータは統計的分析を行います。</p> <p>【調査項目】性別、職業などの背景、初診までの経過、既往歴、合併症、併存疾患、CD4（CD4 陽性 T リンパ球）数、HIV ウイルス量、内服薬の種類（HIV 関連／併用薬）、多剤併用療法の変更回数、変更理由に関する記載、診察予約の受診か否か、薬物や体調、日常生活に関するその他医師・看護師の特記事項、服薬指導実施日、内容</p>
研究期間	西暦 2017 年 9 月 1 日 ～ 西暦 2019 年 8 月 31 日
研究に用いる 試料・情報の種類	<p>情報：氏名、生年月日、性別、職業などの背景、初診までの経過、既往歴、合併症、併存疾患、CD4（CD4 陽性 T リンパ球）数、HIV ウイルス量、内服薬の種類（HIV 関連／併用薬）、多剤併用療法の変更回数、変更理由に関する記載、診察予約の受診か否か、薬物や体調、日常生活に関するその他医師・看護師の特記事項、服薬指導実施日、内容</p> <p>本研究では氏名と生年月日のみ研究参加の辞退が生じた場合、該当する対象患者さんのデータを削除できるように調査票とは別に管理する対応表に記載します。記入済みの対応表、調査票やデータベースは、本研究以外の目的で使用することはなく、研究者以外がアクセスできないようにいたします。</p>
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話または FAX でお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。</p>	
<p>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p>〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9</p> <p>横浜市立大学医学部看護学科 成人看護学 I・II 領域 今津陽子</p> <p>電話番号：045-787-2554 FAX：045-787-2554 e-mail:y_imazu@yokohama-cu.ac.jp</p>	